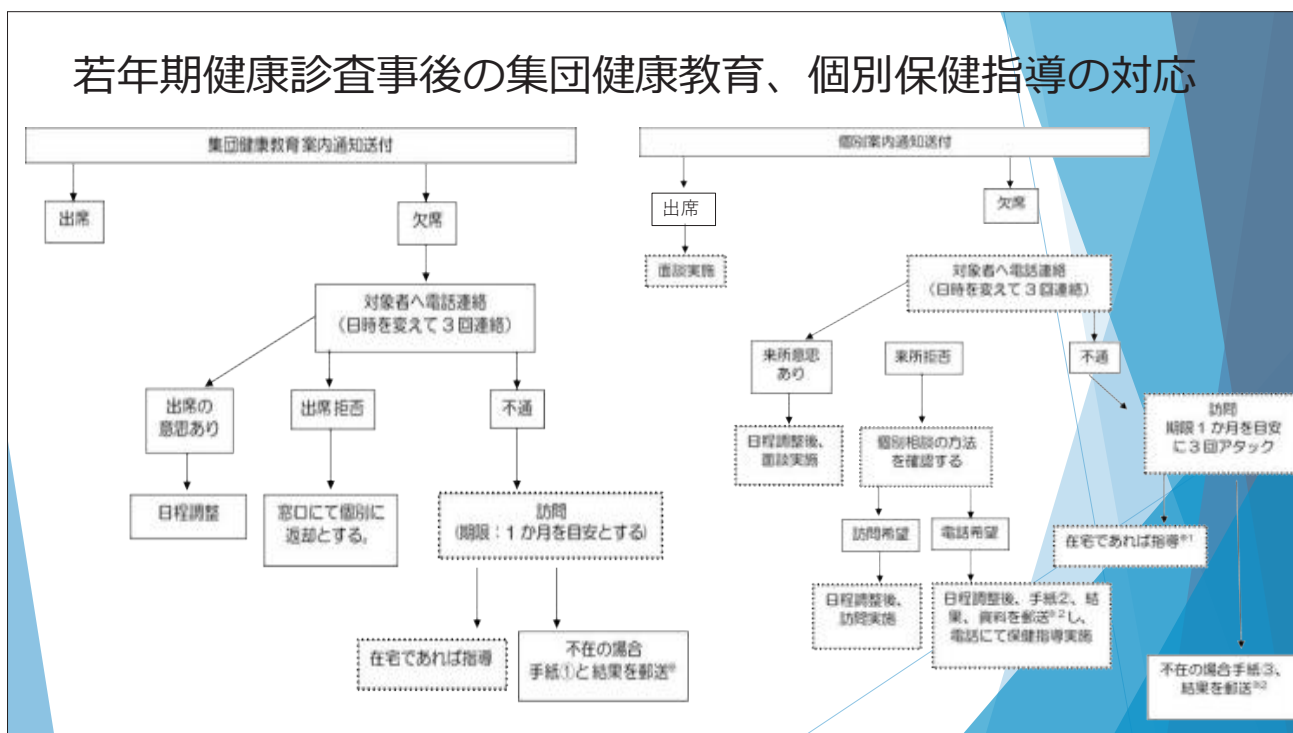


若年期健康診査事後の集団健康教育、個別保健指導の対応



3 国保被保険者(40歳~74歳)の健康課題

~データヘルス計画と其中間評価から~

同規模市と比較して悪い

- ・受診者の生活習慣 : 睡眠不足、朝食欠食
- ・健診有所見 : メタボ、メタボ予備軍、腹囲、**血圧+脂質、血圧+血糖+脂質**
- ・有病率 : **糖尿病、高血圧症、脂質異常症**
- ・医療費 : **糖尿病、高血圧症、慢性腎臓病、筋・骨格系**

同規模市と比較して良い

- ・受診者の生活習慣 : 飲酒頻度と飲酒量、運動習慣、食べる速度
- ・特定健診受診率、特定保健指導実施率
- ・健診有所見 : 非肥満高血糖
- ・有病率 : 脳疾患
- ・医療費 : がん、精神



データヘルス計画中間評価

特定健診等受診者の状況

指標	目標値	H28年度	R1年度	A ⁺ への評価
・高血圧者の割合(血圧160/100以上)	2%減	6.0%	5.9%	A
・脂質異常者の割合(LDL140以上)	2%減	10.7%	26.0%	C
・高脂血症未治療者の割合(LDL140以上)	5%減	87.2%	86.9	A

・高血圧未治療者の割合(血圧160/100以上)	5%減	58.9%	59.5%	C
--------------------------	-----	-------	-------	---

糖尿病者の割合(HbA1C6.5以上)	2%減	9.5%	9.8%	C
・糖尿病未治療者の割合(HbA1C6.5以上)	5%減	40.5%	41.3%	C
・糖尿病コントロール不良者の減少(HbA1C8.0以上)	減少	1.07%	0.3%	A

ベースライン評価	
A	改善している
B	変わらない
C	悪化している
D	評価困難



データヘルス計画全体の目標

指標	中長期目標	実績値		A ⁺ への評価
		H28年度	R1年度	
1 ①~③の疾患割合を減少				
①虚血性心疾患 患者数	10%減	1,356	1,045 22.9%減	A
狭心症新規患者数(対千人)		2.845	2.573	A
心筋梗塞新規患者数(対千人)		0.281	0.136	A
②脳血管疾患 患者数	5%減	1,409	1,171 16.9%減	A
脳出血新規患者数(対千人)		0.281	0.339	C
脳梗塞新規患者数(対千人)		3.426	2.490	A
③糖尿病性腎症 患者数	10%減	306	316 2.6%増	C
糖尿病新規患者数(対千人)		15.054	14.589	A
糖尿病性腎症新規患者数(対千人)		1.966	0.611	A
①~③の基礎疾患				
高血圧新規患者数(対千人)		12.975	13.707	C
糖尿病新規患者数(対千人)		15.054	14.589	A
脂質異常症新規患者数(対千人)		17.357	11.332	A
2 総医療費に占める入院費用割合の減少	34.2%以下	34.2%	35.1%	C
3 人工透析新規導入者の減少	30人未満	19	23	A

新規人工透析導入者の原因疾患は、糖尿病や高血圧が関係する疾患が62.5%



KDB厚生労働省様式3-7 人工透析のレポート分析 7月レポート(40歳~74歳) 国民健康保険特定疾病認定申請書

新規人工透析導入者の原因疾患 (R2木更津市)

糖尿病性腎症	34.4%	62.5%
腎硬化症	28.1%	
多発性嚢胞腎	9.4%	
慢性糸球体腎炎、SLE腎炎	6.3%	
感染症他	3.1%	
胃がん	3.1%	
慢性関節リウマチ	3.1%	
その他不明	12.5%	

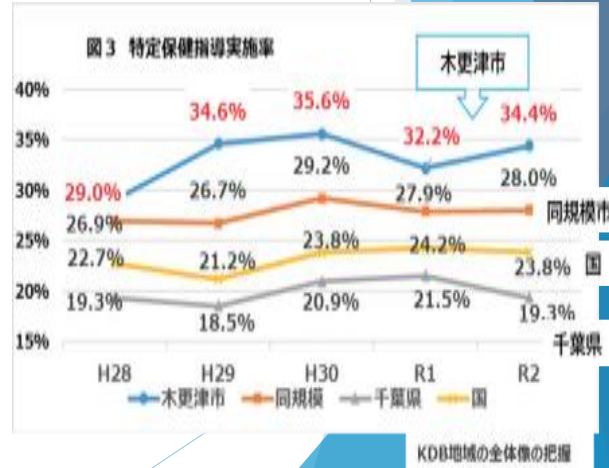
資料：R2年度 木更津市国民健康保険特定疾病認定申請書

特定健診・特定保健指導の実施状況

新型コロナウイルスの影響で、健診受診控えの影響があったものの、前年比1.5ポイント減の下げ幅に留まりました。県内57保険者中の順位は7位でした。



R1年度から2.2ポイント高くなり、R2年度の目標値34.0%を達成しました。同規模市、千葉県、国と比較しても、高い実施率を維持しています。



医療費から見た特定健診・特定保健指導の効果

表6 健診受診者・未受診者における生活習慣病等1人あたり医療費

R2年度	健診対象者	生活習慣病有病者
健診受診者	2,922円	12,154円
健診未受診者	8,294円	34,495円
差額	-5,372円	-22,341円

表7 特定保健指導の参加者と不参加者の1人あたり医療費の比較

保健指導参加	R元年度		
	外来	入院	
積極的支援	120,945	0	
動機づけ支援	147,046	88,438	
保健指導不参加	142,386	79,770	
差額	積極的支援	-21,441	-79,770
差額	動機づけ支援	4,660	8,668

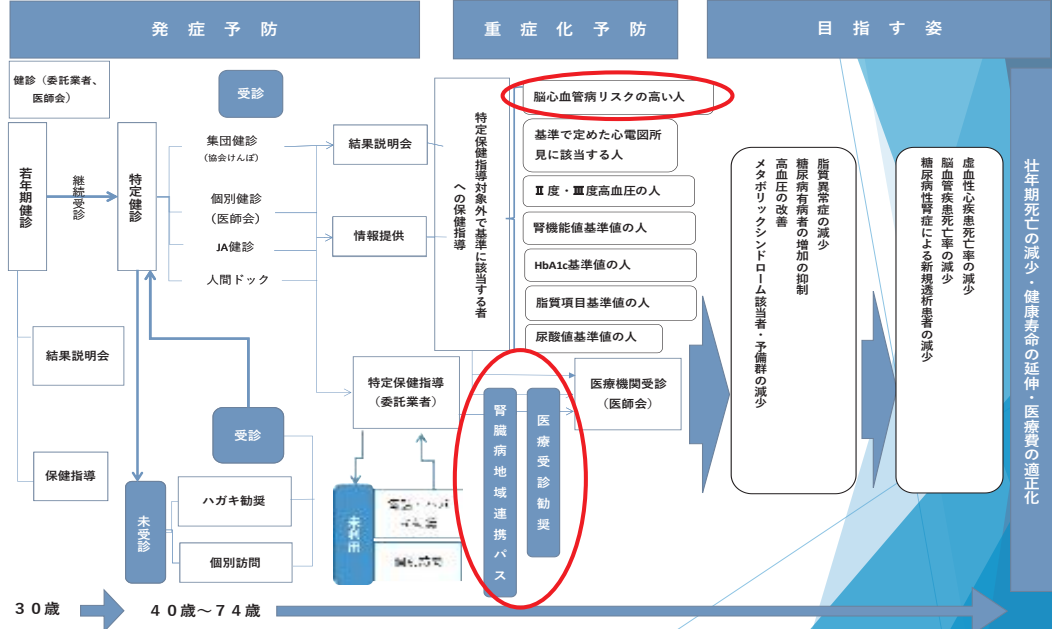


特定健診受診者の方が、医療費が低くなっています。生活習慣病有病者に絞って比較すると、その差は22,341円と大きな差となります。（外来+入院の医療費総額）

特定保健指導参加者の人の方が、全体的に1人あたりの医療費が低く、積極的支援では差額が大きいです。動機づけ支援で保健指導参加者の人の方が、医療費が高くなっているのは、65歳以上の積極的支援相当の人は、動機づけ支援となるため、特定保健指導を受けることで、基準値超えの検査値に対して早期に医療機関を受診し、治療につながっているためと考えられます。

木更津市の保健事業の体系図

図7-2-1 事業の実施概要についての体制図【木更津市】



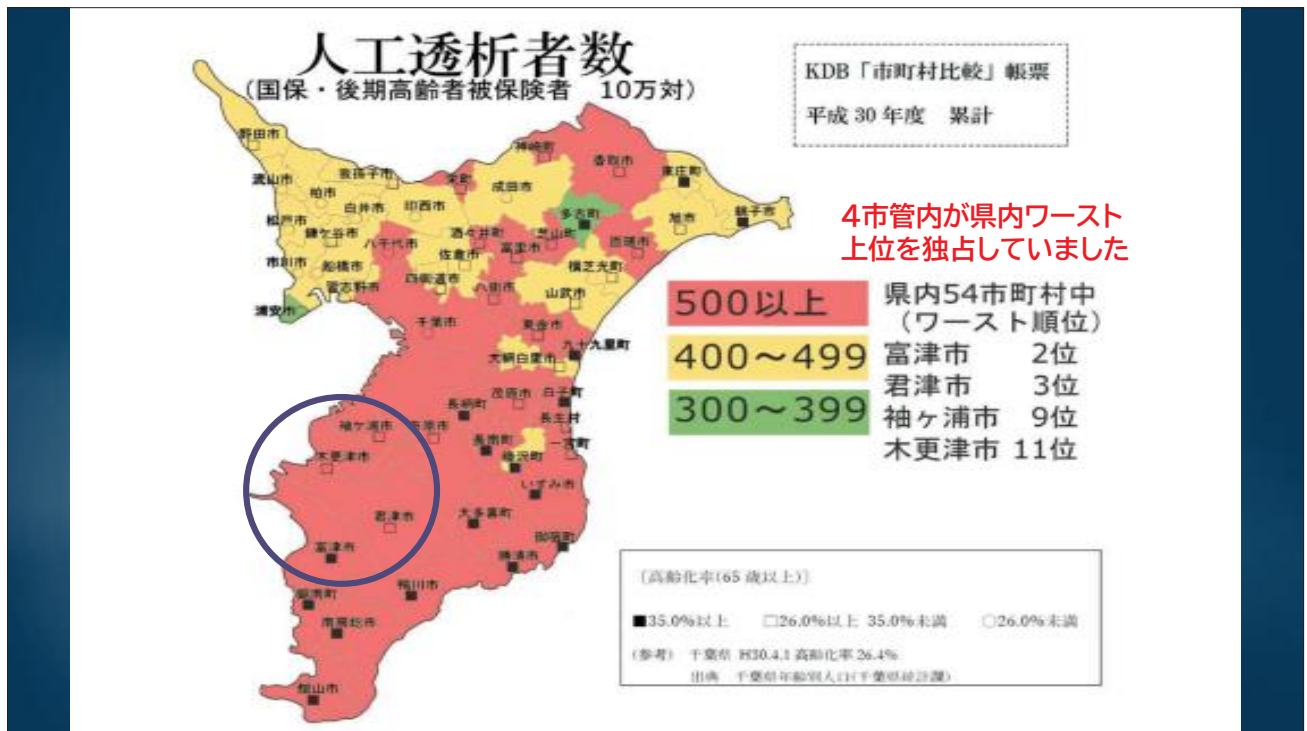
5

データを活用した保健事業の展開事例

木更津市の重症化予防の取り組みの紹介

- 1 腎臓病地域連携パス
(木更津市・君津市・富津市・袖ヶ浦市)
- 2 脳・心血管病 重症化予防





新規人工透析導入者の減少を目指し

君津木更津医師会の承認を得て、平成29年
慢性腎臓病（CKD）予防連携委員会 を設立

かかりつけ医、専門医、4市行政の
連携体制の構築に向けた協議

令和元年から



腎臓病地域連携パスの運用